

# 経常収支差引額23億4100万円の赤字決算

第102回組合会が7月7日(木)に開催され、平成22年度事業報告、収支決算報告などについて、理事・議員の承認をいただきました。以下に収支決算の概要をご報告します。  
(本文中の決算額等は百万円未満四捨五入で表記しています)

## ●22年度事業

### 健康管理事業は円滑に実施

22年度の保健事業については、被保険者と被扶養者の健康管理、健康保持増進を旨とし、組合財政が厳しいなか、事業計画に沿って概ね円滑に実施することができました。

今後も健康管理事業の充実を図ってまいりますので、引き続きご自身の健康保持・増進のため積極的に各種健診事業等をご活用ください。

## ●22年度収入支出決算

### 健康保険（一般勘定）

○収入総額	151億3000万円
○支出総額	149億6200万円
○収支差引額（決算残金）	1億6800万円
*予算総額	151億9900万円

○収入総額	13億4300万円
○支出総額	13億1200万円
○収支差引額（決算残金）	3100万円
*予算総額	13億1600万円

### 介護保険（介護勘定）

## 健康保険（一般勘定）

### 収入 被保険者数の増で 保険料収入は増収

積極的な事業所編入を行ったことで、保険料収入の基礎となる被保険者数は、前年度比678人増の3万1495人（年間平均）となり、保険料収入は同比2億9200万円増の123億800万円となりました。

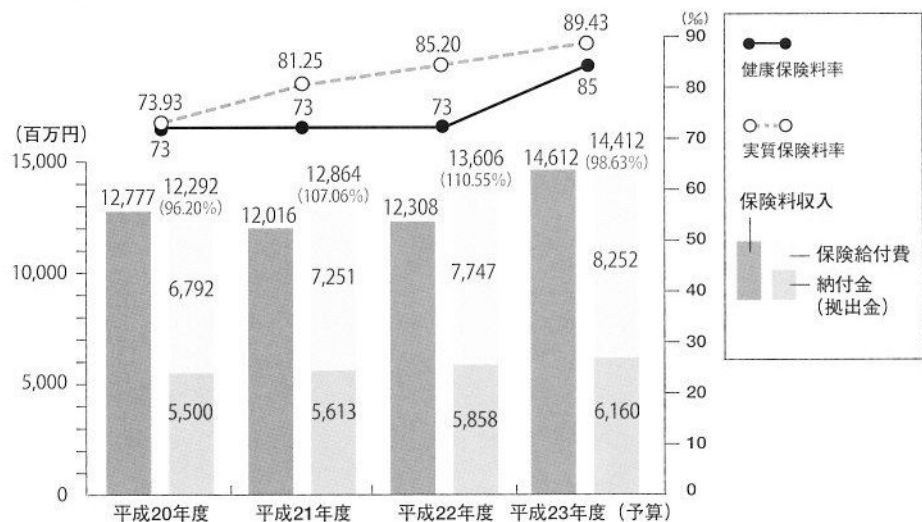
### 支出 保険給付費、納付金とも増加

健保組合の主業務である保険給付費は、被保険者数の増加と医療費の引上げにより、前年度比4億9600万円増の77億4700万円となりました（保険料収入の65・4%）。

高齢者の医療を支える納付金は、前期高齢者納付金が2億5800万円増、後期高齢者支援金が2億5300万円増となり、納付金総額は58億5900万円に膨れ上がっています（保険料収入の47・6%）。

また、みなさんの健康保持・増進のために行った

図 保険料収入・保険給付費・納付金（拠出金）の推移



\*保険給付費・納付金の合計額の( )内は保険料収入に対する割合。

## 収支 前年度比7億6300万円の 財政悪化

以上の結果、22年度は経常収入124億1500万円、経常支出147億5600万円、差引き

保健事業は、同比4700万円増の5億6500万円となりました。特定健康診査、特定保健指導、人間ドック等の疾病予防費にその大半を投入しています。